

# 宮崎県串間市 病院事業会計

## 経営健全化計画実施状況報告(要旨)

### 1 計画と具体的な措置の状況

#### (1) 収益確保に関する取組（令和3年度決算対比による収益の増加額）

- ① 麻酔科医の採用により、麻酔管理料の算定が可能となったことによる増収（735千円）
- ② 職員の研修受講を推進するなどの取組により、新たな診療報酬の加算を取得したことによる増収（6,852千円）
- ③ 市内他病院への空床状況の周知を行い、入院収益の増加を図ったが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う入院制限の影響により、前年度比で減収となった。
- ④ 内科医の採用に伴い、発熱患者を積極的に受け入れたことによる外来収益の増収（65,947千円）
- ⑤ 介護保険利用者の意見書作成時にCT、MRI検査を実施したことによる増収（2,400千円）
- ⑥ 市内の事業所を訪問し、事業所健診の調整を行うなど健診事業の営業活動を強化したが、前年度比で減収となった。

#### (2) コスト削減に関する取組（令和3年度決算対比による費用の削減額）

- ① 業務効率化による時間外勤務手当の削減（6,735千円）
- ② 他病院からの医師派遣見直しによる報償費の削減（18,676千円）
- ③ 医療資材の在庫管理を徹底し、購入時の価格交渉を行ったが、PCR検査キットの購入費用が多額となったことにより、材料費は前年度比で増加した。

### 2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和4年度)	第2年度 (令和5年度)	第3年度 (令和6年度)	第4年度 (令和7年度)
当初計画 A		762,064	68,697	66,968	59,120
解消実績額 B		775,373	—	—	—
現在計画 C		—	68,697	66,968	59,120
B-A 又は C-A		13,309	0	0	0
資金不足額	1,062,033	286,660	217,963	150,995	91,875

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

### 3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (令和4年度)		第2年度 (令和5年度)	第3年度 (令和6年度)	第4年度 (令和7年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率		64.9	17.1	17.3	12.8	9.1	5.8

### 4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・毎月、経営会議での収支状況の確認を行うとともに、院内掲示板を活用し、全職員が経営状況を把握できるよう工夫している。
- ・人事評価を実施し、病院経営に資する人材育成に取り組んでいる。
- ・将来の医療需要を注視しつつ、適正な病床数の検討を逐次行っている。
- ・病院運営改善委員会を設置し、外部有識者として公認会計士をメンバーに加えることで、専門的な視点に基づく経営面のアドバイスを求めている。
- ・経営会議に市長部局で構成される市民病院経営健全化検証チームのメンバーを加え、多方面から経営健全化の進捗を確認する体制をとりつつ、市長部局との連携を強化している。